

木 工 芸

倉 園 昭 雄 (冠 堂)



第11回 第三文明展 花器 — 晩秋 —

倉園冠堂

素材として、シナ合板及び南方材のツキ板を用い積層接着することで、強固な木地として造形したものである。

積層面の、リズムカルな線文、上部は、木の葉をイメージに曲線を生かし、花器全体を左方に動きのある形体とし、表面処理は、黒褐色の漆塗の透留塗風の仕上げを試み、重量感を与えた。

23×39×32 (cm)

於 東京都美術館